

編集部便り

『積水ハウス株式会社総合住宅研究所「納得工房」』訪問記 研究企画部 研究推進グループ

本研究所は、関西文化学術研究都市都市(京都府相楽郡)の中にあるハイタッチ・リサーチパークの一角に位置し、面積は6,600m²の規模です。

本施設は、ハード、ソフトの両面から、積水ハウス(株)の企業理念である「人間性豊かな住まいの創造」を追求する研究施設として平成2年に設立されました。

特に「納得工房」は、一般の住宅展示物のように視覚情報だけでなく、「見て」「聞いて」「手で触って」「体で感じて」「比較して」といった様々な体験を通して、住み手と作り手が共に「理想の住まい」を追求できる体験型施設として工夫されています。昔からの知恵のみならず新しいテクノロジーを盛り込み、また、地球環境問題や急速に進む高齢化など、将来に向けた

さまざまな課題に対する住文化への理解を深めることができ、小学生からPTAの方々、また、医療・福祉の方々など幅広い分野のお客さまに活用されています。中部電力の紹介でもすでに大勢のお客さまが体験いただいています。

また、案内スタッフの方々も、限られた時間内に効率的に案内をされ、この機会でないとは体験できないような施設や、関心の強い施設を重点的に案内されるなど、納得工房のコンセプトを十分理解できる案内に留意されており、私たちも大変感動しました。

最後に、積水ハウス(株)芦辺総合研究所長、山中納得工房長様始め、スタッフの皆様に御礼申し上げます。

SEKISUI HOUSE
総合住宅研究所 納得工房
〒619-0224 京都府相楽郡木津町兜台6-6-4 TEL 0744-73-1105

Web 納得工房 <http://www.sekisuihouse.co.jp/nattoku/index.html>



中央
積水ハウス 山中スタッフ
(記：土屋 太田)

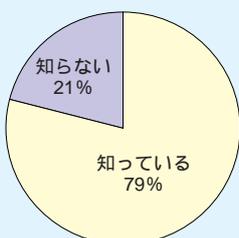
●テクノフェアパネルディスカッション事前アンケート

(注) P28関連

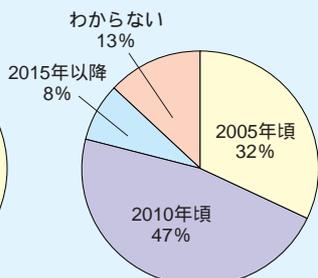
●アンケート結果

事前に案内状をお送りした方からご返事をいただいたものです。(有効回答数：451通)

燃料電池にはいろいろな種類があることをご存じですか。

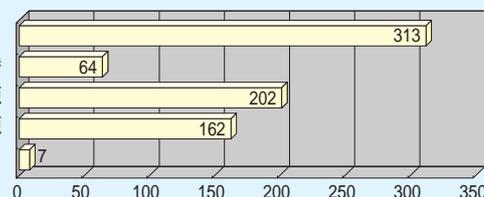


燃料電池の実用化の時期はいつ頃だと思いますか。



燃料電池はどのような形で実用化されると思いますか。(複数回答可)

- (1) 自動車の動力源
- (2) 火力発電所の代替
- (3) 業務用分散型電源
- (4) 家庭用分散型電源
- (5) その他



燃料電池が実用化された時のメリットとして正しいものはどれでしょうか。

- (1) 水素を燃料とするのでCO₂の排出がなくなり、地球温暖化問題が解決される。
- (2) 水素を燃料とするので、化石燃料がいらなくなる。
- (3) エネルギーの効率利用ができるので、CO₂排出量、化石燃料消費量とも削減できる。
- (4) その他

